

要請番号 (JL54817A36)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タンザニア	D201 化学・応用化学		個別	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2017/4 ・ 2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健地域開発ジェンダー児童省(ザンジバル)

2) 配属機関名 (日本語)

ザンジバル化学検査公社

3) 任地 (ザンジバル都市部西部州) JICA事務所の所在地 (ダルエスサラーム市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (船+バスで約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は2011年に保健省から公社組織として独立した化学検査機関である。主な業務は様々な物質の成分分析であり、大きく3つのカテゴリー(法医学分析、生物科学分析、食品分析)に分けて行われている。警察、軍、港湾等の政府関係組織からの依頼に基づく検査が多いが、民間企業や一般人からの依頼(有料)も受け付けている。スタッフはウングジャ島の本部検査室に34名(検査技師は16名)とペンバ島の支部に10名(検査技師は4名)で、全員で44名が所属している。年間予算は約2,500万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同公社は2013年に現在の場所に移転してきたが、非常に狭く十分な検査室スペースが確保できないため、新たな検査機器の設置ができない状況である。現在、敷地内に2階建てのビルを建設中(一部は既存ビルの改築)で、2017年6月頃までには完成する予定であり、完成後は新たな検査機器の設置(UNDPの支援を受ける予定)を含めて、検査室の大幅な刷新を行う計画となっている。新検査室の立ち上げや新たな検査機器の導入に加え、検査室環境の整備、検査技師の能力向上にJVによる支援が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 配属先で行われている化学分析の現状(目的、種類、精度等)を把握する。
2. 化学分析作業の支援を行いながら、分析方法や検査機器の取扱い等について助言する。
3. 検査機器の設置場所等も含め、検査室内の整理整頓を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

光度計、濁り度計、粘度計、遠心分離機、インキュベーター、pH計、ろ過装置等

4) 配属先同僚及び活動対象者

所長(男性、博士、40歳代)
検査室長(女性、大卒、微生物学、30歳代、経験3年)
検査技師(男性、大卒、微生物学、20歳代、経験2年)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒）化学 備考：同僚の学歴に合わせる必要あり

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験に基づく専門知識必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（20～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】